

時代の区分と歴史資料

旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

今日の問い

歴史はどのように区切られ、どんな資料から調べられるのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 時代の区分

時代の分け方

時代区分

歴史の流れを大きな特徴によって分けたまとまり。

原始

国家ができる前の、旧石器時代や縄文時代などの時代。

古代

天皇を中心とする国家のしくみが整えられていった時代。

日本の歴史は、社会の大きな特徴によっていくつかの**時代区分**に分けられる。国家ができる前の旧石器時代や縄文時代などを**原始**、天皇を中心とする国家のしくみが整えられていった時代を**古代**という。

武士が力をのばして政治を動かした鎌倉時代や室町時代などを**中世**、安土桃山時代と江戸時代を**近世**、明治時代から第二次世界大戦の終わりまでを**近代**、それ以後を**現代**とする。また、都が奈良にあった**奈良時代**、鎌倉に幕府が置かれた**鎌倉時代**のように、政治の中心地から名付けた時代もある。

時代区分	おもな特徴
原始	国家ができる前(旧石器・縄文時代など)
古代	天皇中心の国のしくみが整う(飛鳥・奈良・平安時代など)
中世	武士が力をのばす(鎌倉・室町時代など)
近世	安土桃山・江戸時代
近代	明治時代から第二次世界大戦の終わりまで
現代	第二次世界大戦のあとから今まで

2 歴史を調べる資料

歴史の調べ方

文字資料

古い文書や木簡など、文字で書かれた記録。

遺物

土器や石器など、昔の人が残した物。

遺跡

建物や生活のあとが残る場所。

歴史を調べるときには、さまざまな資料が手がかりとなる。日記や手紙、木簡などのように文字で書かれたものを**文字資料**という。土器や石器、鉄器など、昔の人が使ったりつくったりした物は**遺物**と呼ばれる。

建物のあとや、人々が生活していたあとが残る場所は**遺跡**という。発掘された遺物や、遺跡の記録などは**博物館**に収められ、だれでも見て学べるようにされている。歴史は、こうした資料を手がかりに一つひとつ明らかにされていく。

問いへの答え

日本の歴史は、社会の大きな特徴によって、国家ができる前の原始、天皇中心の国のしくみが整えられた古代、武士が力をのばした中世、安土桃山・江戸時代の近世、明治から第二次世界大戦の終わりまでの近代、それ以後の現代に区分される。そして歴史は、文字資料や遺物・遺跡などの資料を手がかりに調べられている。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

